

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民体育館耐震改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	25年度は工事に入るため、工事に支障がないよう、事務処理や調整事項を速やかに処理する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	平成25年度事業完了
②①に基づく取組み結果	調整等を円滑に行えたことから、工事も計画通り実施できた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民及び利用者の安全	意図(対象をどうするのか)	市民体育館の耐震化
②事務事業の概要	地震災害に対する市民体育館の安全性を確保し、必要な耐震性能の確保を図るため、耐震診断結果に基づき、耐震改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	公共施設の耐震改修工事は、市民の生命を守る観点から必須の事業であり、国の交付金の活用等による事業の早期実現は妥当である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	耐震改修設計に基づき、市民体育館の耐震改修工事を実施し、必要な耐震性能の確保が図れた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	体育館管理棟のIS値	0.61	0.61	0.9以上	—	業務取得
	ii	体育館アリーナ部分のIS値	0.70	0.70	0.9以上	—	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	12,285	157,000	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)	0	52,333	4,095	市民体育館耐震改修工事監理委託		0	
県支出金(千円)	0	0	152,905	市民体育館耐震改修工事		0	
市債その他(千円)	0	104,600				0	
一般財源(千円)	12,285	67				0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	工事実施に当たり、利用団体との調整を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成25年度中に計画通り終了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市民体育館の耐震改修工事	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	耐震改修工事を完了した。	215,000	215,000	当初	215,000	157,000	H24からの繰越	157,000
				H24⇒25繰越	215,000		現年分	0
③達成状況	完了			補正	△ 215,000			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)				0		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民体育館施設改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	トレーニングルームの設置により、利用者の増加が見込めることから、利用者への直接サービスにつながる設備改修を行う。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	非常用電源(バッテリー)	意図(対象をどうするのか)	市民体育館の非常用電源の確保
②事務事業の概要	市民体育館の非常用電源の蓄電池を交換するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	非常用の電源は消耗品のため数年に一度は交換する必要がある、今後もこの事業の必要性がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市民体育館にある非常用電源の蓄電池を54個交換した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 更新設備数	0	0	54	—	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	0	6,510	金額(千円)	内容	23,162	
国支出金(千円)	0	0	6,510	市民体育館非常用電源蓄電池	0	
県支出金(千円)	0	0			0	
市債その他(千円)	0	0			17,300	
一般財源(千円)	0	6,510			5,862	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	定期的に交換を要するため、今後計画的な交換を意識する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	引き続き施設の長寿命化等のため必要な改修を行っていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市民体育館施設改修	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	非常用の電源のバッテリー交換	8,419	6,510	当初	8,419	6,510	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	6,510
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,909			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	(仮称)弓道・アーチェリー場建設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	関係各課との調整を図り、4月末に事業を完了する。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	弓道場及びアーチェリー場の整備を行う。	意図(対象をどうするのか)	両施設の整備
②事務事業の概要	旧市民プールを解体し、その跡地に(仮称)弓道・アーチェリー場を整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業を前倒して建設まで行うこととなったが、生涯スポーツの観点からも、今後大きな利用を見込める施設であると考えられる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	旧市民プールを解体し、その跡地に、弓道場・アーチェリー場の建設を行い、施設の建物工事を完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	施設(弓道及びアーチェリー場)建設数	0	0	2	棟	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	96,044	金額(千円)	内容		170	
国支出金(千円)	0	80,768	1,750	施設用消耗品		0	
県支出金(千円)	0	0	8,581	(仮称)弓道・アーチェリー場整備工事設計委託他3件		0	
市債その他(千円)	0	0	82,971	(仮称)弓道・アーチェリー場整備工事他2件		0	
一般財源(千円)	0	15,276	2,742	施設用備品		170	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	運営について、初心者等の受入態勢を十分に確保することが課題である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	本体工事は完了したが、大雪等により外構工事が4月末までと事故繰越となったため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市民プール解体。弓道場及びアーチェリー場の設計及び建設を行う。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	市民プールの解体。弓道場、アーチェリー場の設計及び建設。	103,802	104,162	当初	18,709	96,044	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	未完了			補正	85,093		現年分	96,044
④未完了・非着手の理由				流用・充当	360			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)						7,199

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	テニスコート改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	平成25年度完了
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市営庭球場	意図(対象をどうするのか)	コート面の増設及び砂入り人工芝化を実施する。
②事務事業の概要	市営庭球場を3面から4面に1面増設するとともに、クレイコートから砂入り人工芝のコートに改修する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	砂入り人工芝のテニスコートに改修することにより、多くの利用者を見込むことができる			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市営庭球場を1面増設し、すべてのコートを砂入り人工芝に改修した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	市営庭球場の面数	3	3	4	業務取得
	ii	市営庭球場の砂入り人工芝化	0	0	4	業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	0	68,743	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)	0	56,000	4,814	市営庭球場改修工事設計委託他4件	0	
県支出金(千円)	0	0	63,193	市営庭球場改修工事他2件	0	
市債その他(千円)	0	0	736	施設用備品	0	
一般財源(千円)	0	12,743			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	改修工事後、利用再開後の利用率について注目していく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	平成25年度中に計画通り終了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市営庭球場の砂入り人工芝コート化及び1面の増設	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	改修事業を完了した	67,704	73,277	当初	58,740	68,743	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	完了			補正	12,054		現年分	68,743
④未完了・非着手の理由				流用・充当	2,483			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)						0

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	トレーニングセンター統廃合事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	平成25年度完了
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	トレーニング機器	意図(対象をどうするのか)	機器の更新
②事務事業の概要	トレーニングセンター機能を市民体育館内に移設するとともに、老朽化した機器を更新する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	トレーニングルームは、旧トレーニングセンターと比べ設置エリアに限度がある等、環境が異なるため、利用者数や意見等を把握し、運営に反映させる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市民体育館内にトレーニングルームを設置し、39台のトレーニング機器を設置した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	新規トレーニング機器の更新数	1	0	38	機	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	0	23,532	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)	0	0	113	トレーニング機器等借上料		0	
県支出金(千円)	0	0	4,725	市民体育館ラウンジ・パーティション設置工事他4件		0	
市債その他(千円)	0	0	18,694	トレーニング機器		0	
一般財源(千円)	0	23,532				0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	トレーニングルームの利用率等に注目する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	平成25年度中に計画通り終了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	トレーニング機能を移転、機器の更新及びトレーニングセンターを廃止。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	トレーニング機能を移転、機器の更新及びトレーニングセンターを廃止。	32,033	30,088	当初	32,033	23,532	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	23,532
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,945			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)	0			